# 審　査　シ　ー　ト
# ジェルコリフォームコンテスト2025

JERCO

| エントリー番号 |
|---|
| 6 - 3 - 0 5 8 6 - 0 |

## タイトル

父と暮らす家、再び動き出す。
－親子だから、ちょうどいい距離感。

応募部門：下記より**ひとつ**を選んで◉を入れてください

○ 戸建て全面　○ マンション全面　◉ リビングダイニング
○ キッチン　○ サニタリー　○ 個室
○ 外まわり　○ 玄関・ホール

## 基本情報

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 邸名 | K様邸 | | | | | 築年数 | 50 | 年 | 構造 | 木造 | 造 | 2 | 階建 |
| 該当部分工事費 | 900 | 万円 | 総工事費 | 1,397 | 万円 | 建築確認申請の有無 | | | | □ 有 | | ☑ 無 | |
| 増築面積 | 0 | ㎡ | 減築面積 | 0 | ㎡ | 居住者構成 | 15歳未満 | 0 | 人 | 15歳以上65歳未満 | 2 | 人 | |
| 改装面積 | 90.67 | ㎡ | ※増築・減築の面積を除く | | | | 65歳以上 | 1 | 人 | ペット | | | |
| 建物の履歴（自宅、中古購入、空き家活用などの情報） | | | ☑ 施主の居宅 | 50 | 年居住 | □ 空き家または中古住宅の活用 | | | | | | | |
| 所在地 | 都道府県 | 広島県 | 市町村 | 東広島市 | | 完成年月日 | 2024年6月14日 | | | | | | |

## 施主様ご要望：リフォームの動機

・寒さを解消し、家族が自然と集まる暖かく広いリビングダイニングキッチンを希望。
・高齢のお父様も安心して暮らせるよう、段差解消など安全性に配慮して欲しい。
・娘さん、憧れである高級リゾート「アマネム」の上質さを意識しつつ、既存のものも活かしてコストを抑えた、現実的でバランスの取れたプランを重視して欲しい。

## プラン決定のポイントと工夫

30年ぶりに、親子が再び同居する住まいへ。重視したのは“親子だからこそ心地よい距離感”。近すぎず離れすぎず、LDKを中心に水回りや寝室の配置を工夫し、さりげなく気配が伝わる見守り空間を実現。お父様の寝室はキッチン裏に設け、調理中でも声や物音に気づけるよう配慮。キッチンに立てばLDK全体を見渡せ、家族の存在を感じられるつくりに。玄関や廊下の寒さ・段差も改善し、安全で快適な動線を確保。回り階段やアイアン手摺のあるホール、扉やFIX窓の透明ガラスが空間をゆるやかにつなぎ、適度な仕切りが自然な会話を生み出す住まいとなった。

## 施主様ご感想：満足度など

80代の父と50代の私の同居する未来を考えた時、段差の大きさと寒さ解消は必ずクリアしたい問題でした。今回のリフォームでそれらを解消し、加えて新築当初からの家族の思い出が残る柱や長押を残していただいたことで、子供時代の家の記憶も身近に感じながら暮らすことができ、愛着を感じています。住みやすさはもちろんですが、「絆をつなぐ住まい」を一緒に考えてくれたことに感激しています。

## 性能向上の特性（複数選択可）

□ 劣化対策　☑ 耐震性　□ 維持管理
□ 可変性　☑ 省エネ　☑ バリアフリー

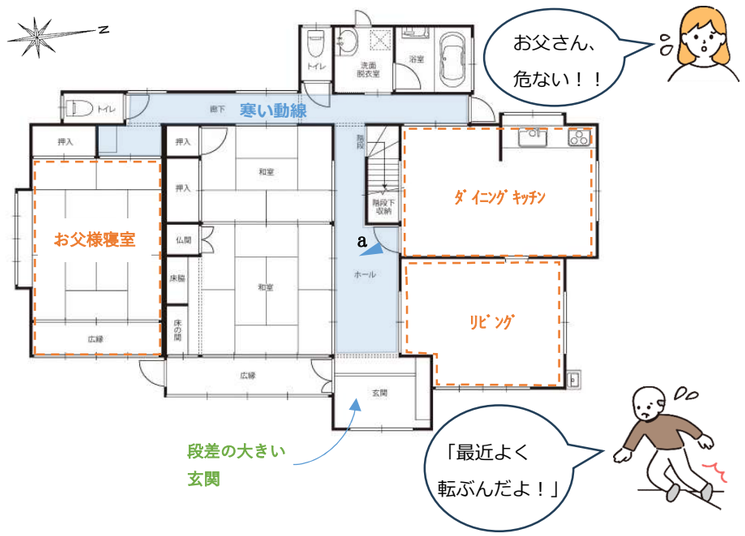
## 選択した性能向上の特性で特に配慮した点(５０字程度で)

家族の安全を考え、断熱と段差解消で温度差のない住環境に配慮。

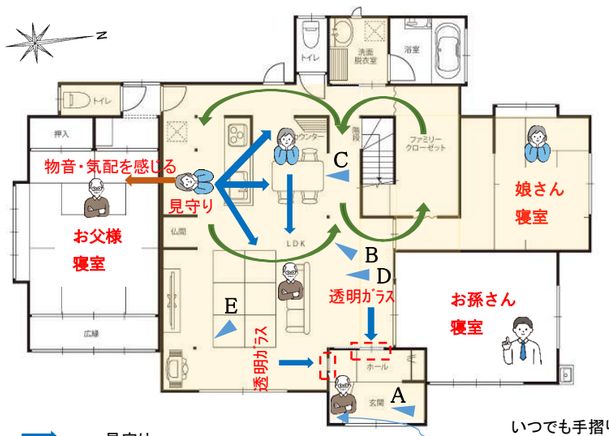
## 性能向上で、準拠・参考にした数値（性能表示の等級など）

リフォーム範囲で断熱等級4、1Fのみ耐震等級2相当

## リフォーム前の平面図




## リフォーム後の平面図



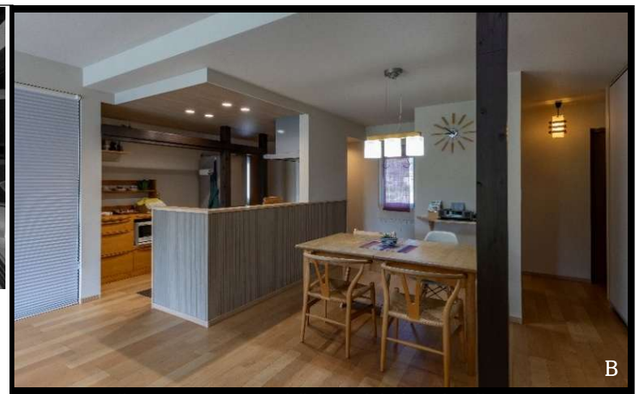
既存の柱や長押を残し、欠損部分には埋木やそのままの状態を活かし、名残をデザインとして取り入れた。

いつでも手摺りをつけれるように下地補強のスタンバイOK！

・・・見守り
・・・物音・気配を感じる
・・・回遊動線
・・・透明ガラス

扉やFIX窓に透明ガラスを採用し、視線が抜けることで開放感と安心感を両立。
回遊動線の設計により、家族の気配が自然に伝わりやすく、見守りやすい空間となっている。

a.広く寒い家で一人暮らしだったお父様。各部でエアコンや暖房を使っていたものの、トイレや仏間・寝室へ行く際には寒い廊下を通る必要があり不便だった。使われてない部屋も多く、廊下も無駄に広かった。
さらに玄関には大きな段差があり、お父様にとっては危険な場所だった。




B.キッチンの後ろのカップボードや冷蔵庫は既存収納の長押や柱を残し、デザインに活かした。既存位置で、キッチン横のブリーツスクリーンをあげるとお仏壇。

A.
段差の大きかった玄関は回り階段とし、ホールにはアイアン手摺りで安全面に配慮。
また扉やFIX窓は透明ガラスを採用することで視線が抜け、安心感と開放感があると共に自然と見守りにもつながっている。
既存の石貼りを活かし、玄関のデザイン性をより高めた。

C.リビングダイニングキッチンにいれば、お互いに程よい距離感でいることができ、寒かった廊下もリビングダイニングキッチンに取り込むことでお父様にもご家族にも安心して過ごして頂ける住まいとなった。

## 父と暮らす家、再び動き出す。
## －親子だから、ちょうどいい距離感

大人になればそれぞれの生活スタイルや価値観が確立され、親子であっても同居はストレスになりがちです。だからこそ「心地よい距離感」を大切にし、お互いが安心して暮らせる住まいの実現を目指しました。

D. 元の広縁・廊下・和室をつなげて、家族が自然と集まれる広いLDKに。お互いの気配を感じながらも、程よい距離感を保てる空間となった。
E.寒さ対策としてペレットストーブを採用。LDKの快適性が大きく向上した。